

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 2025年06月30日

事業所名: マルクスコラ竹原教室

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標
		はい	どちらか と多い と思う	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらか と多い と思う	いいえ	わからない	
環境・ 体制 整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	○			感染状況を鑑みながらお互いが適切な距離を保てるように配慮している。	8	0	0	0	・広々としていてよい
	2 職員の適切な配置	○			引き続き適正な人員を確保し支援にあたっていく	6	0	0	2	・入れ替わりが多いため不明 ・手厚いと思う
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	○				7	0	0	1	・分かりやすい
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	○			毎朝、清掃を行っている。	7	0	0	1	・清掃が行き届いていると思う
業務 改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画	○			月1面談にて各スタッフの意見を抽出しそれを支援に反映できるようにしている。					
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	○								
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	○			適宜、行っている。					
適切 な 支 援 の 提 供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	○			モニタリング時や日々のヒアリングなどコミュニケーションをとる機会を大切に、ニーズの抽出に注力している。	8	0	0	0	・個別にしっかりと考えて下さっている
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	○			一人一人の特性や状態、ステージに合わせた目標設定を行い、支援内容を検討していく。	8	0	0	0	・個別にしっかりと考えて下さっている
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	○			基本的には、集団による療育を実施。必要に応じて個別での対応を行う。					
適切 な 支 援 の 提 供 (続 き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	○				8	0	0	0	・個別にしっかりと考えて下さっている
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	○								
	6 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	○			ミーティングで積極的に意見を出し合いながら、過去の提供プログラムもふりかえり、固定化を防ぐようにしている。	7	1	0	0	・プログラム豊富でよい
	7 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	○								
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	○			毎朝、朝礼時に打ち合わせを行っている。					
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	○			毎日の終業前のミーティングにて改善を行っている。					
	10 日々の支援に關しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	○			毎日の終業前のミーティングにて発達支援日誌への記載を行い、それを基に支援の改善を行っている。					
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	○			半年に1回を目途に面談を行っている。					

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	○			児発管もしくは、その生徒さんとの関係性が深い支援員が参加している。					
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施				なし					
関係機関との連携（続き）	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備				なし					
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間での支援内容等の十分な情報共有	○								
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	○			必要に応じて、学校との連携を行い、支援内容を共有できる関係作りを行っている。					
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	○			連携は行っているが、研修を開催、参加する機会は少ない。					
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	○			関係作りの強化を行っている。	1	4	1	2	あまりないのではと思う 引き続き交流の機会を作り関係性の強化に取り組んでいく。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	○								

区分		チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
			はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	○			利用契約時に丁寧な説明を行っている。	7	1	0	・されている		
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	○			利用開始時やそれ以外でも定期的な面談時に行っている。	8	0	0	・されている		
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施			○		4	3	0	1・あまりないかも？	今後実施を検討する予定。	
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	○			日ごろからのコミュニケーションを事業所から積極的に行い、同じ方向を向いて支援が行えるように取り組んでいく。	4	2	1	1・その都度、様子を伝えて下さっている	今まで以上に直接の面談や相談以外の時間もお電話や通信サービスを利用してご意見をうかがえるようにしていく。	
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	○			必要に応じ、個別で面談をさせて頂いている。 普段のお子様の様子を様々なツールを活用し保護者様へ発信している。	6	1	0	1・仕事でなかなか職員さんとあえてないため いろいろお話がそこできるのでよい		
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援			○	実施できていない。	0	4	1	3・あまりないと思う	今後イベントや特別プログラム、研修会などを企画し実施する予定。	
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	○			ヒヤリハットの作成、適宜情報の共有、緊急MT が行えるようにしている。	5	1	0	2・できていると思う		
	8	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮	○				7	1	0	0・できていると思う	相談、申入れについての体制を整備して対応していく。	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	○			SNSやHPにてブログも掲載している他に通信として毎月発行し、保護者様へ配布をさせて頂いている。	8	0	0	0・会報やSNSなど楽しみに見させてもらっています		
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	○			最大限配慮している。	8	0	0	0・できている		
	非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底			○	新スタッフへの周知は完全とはいえない。	5	1	0	2・最初に説明を受けたが、定期的には受けてないので、年々一回、会報に記載してもらえばうれしい。 ・避難場所など周知できている	定期的に確認できる機会を設けるように検討していく 災害時などのマニュアルなどは整備を進めていく
		2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	○			年2回の消防訓練を確実にやっている。	4	2	0	2・分からない	年2回実施しているが、利用者の方へもしっかりと周知できるように取り組んでいく。
	非常時等の対応（続き）	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	○			社内研修の一環として毎年行っている。					
4		やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載			○							
5		食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	○			事前のアセスメントでお聞きした内容に沿って、支援を行っている。						
6		ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	○									

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標
		はい	どちらか いい方 に	いいえ	はい	どちらか いい方 に	いいえ	わからない	
		工夫した点、改善点			保護者の方のご意見				